福祉実態調査ではアンケート調査のほか、福祉活動を行っている団 体へのヒアリング調査も行なわれました。また、川崎区では独自に 職員と共に地域で活動されている方などで構成される地域福祉計 画推進会議の委員にも同行してもらいました。





同行した委員の感想

子育て支援機関を見学して、地元の町内 会との連携が深まっていくと、人材の面 も含めてより広範な活動に結びつくので はないかと感じた。もっと町内会を活用

してもらえれば良いと感じた。



社会福祉法人を見学して、地域に密着 した形で、みんなで一生懸命考えなが ら事業を進めている点に非常に感銘を 受けた。こうした活動は地域の輪をつ なげるのに重要だと思う。



特定非営利活動法人を見学して、地域 をうまく活かした形で多世代での交流

を持たせている点がとても参考になっ

た。



地縁組織を見学して、自分を振り返っ てみると、町内会に入ってはいるが町 会費を払うだけだった。町内会の現状 など色々な話を聞けてとても勉強に なった。



ヒアリング団体一覧及びその他の委員の感想はこちらにおかぼか通信

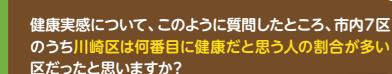




調査ではこんな設問がありました。



あなたの



…どうですか?

気になる答えは、ぜひ こちらでご確認ください!→





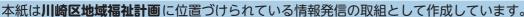
vol.32

川崎区ホームページ

ぽかぽか通信



http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/page/0000096910.html



Poka-Poka info vol.32 通信 2023年10月発

発行 川崎区役所地域みまもり支援センター

電話 201-3210 FAX 201-3293

一生住み続けたい

最幸のまち・川崎をめざして

地域福祉に対する市民の意識はどのようなものだろう…。

次期『川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料として 地域の生活課題などを明らかにするため、

多くの市民の協力を得て意識調査が行われました。



調査のあらまし(大きく3通りの方法で調査しました)

地域の生活課題に 関する調査

●無作為に選んだ、市内在住 の18歳以上の男女(外国人 を含む)が対象 (郵送によるアンケート方式)

地域福祉活動に 関する調査

●市内で地域福祉活動を行 う団体等が対象 (郵送によるアンケート方式)

市職員による地域福祉 活動を行う団体への ヒアリング調査

●市内で地域福祉活動を行 う団体等、各区9団体、市内 63団体が対象 (対面によるヒアリング方式)



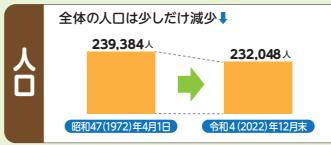
さも

んに **O**

地域福祉実態調査の詳細についてはこちら 川崎市地域福祉実態調査 Q



川崎区の統計データ… 川 山奈 区 は こんなまち



子ども(0歳~14歳)は減少↓



実際の人数:24,301人 令和4(2022)年12月末



実際の人数:10,005人 昭和47(1972)年4月1日





昭和47(1972)年4月1日

外国人住民人口は増加! 1





令和4(2022)年12月末

出典:川崎市統計書(S47.4.1)、町丁別年齢別人口(R4.12月末)

川崎市地域福祉実態調査

-川崎区の調査結果から



社会的不安や孤独・孤立の問題に 対応していくために、 地域での見守りの取組として、 有効だと思う取組はありますか。



40%

45.7

44.9

市全体(回収数=2,450人) 川崎区(回収数=303人) 30% 地域住民による見守り訪問、 声かけ運動、友愛訪問などの取組 電気、ガス、水道の検針や新聞や 牛乳配達を活用した見守りの取組 32.7 25.7 民生委員児童委員による見守りの取組 25.1 27.7 ごみ収集(ごみ出しが困難な高齢者等 への支援や声かけ) による確認 23.4 16.4 15.5 23.7 18.8 地域包括支援センター等による 28.2

定期的な電話や傾聴等の話し相手 会食会、コミュニティ・カフェ、サロン などを催し、地域交流を深める取組 生活実態の把握 25.1 25.9 弁当の配食時に安否確認する取組 23.8 25.0 児童の登下校時の見守りの取組 23.1

わからない

無回答

身近な地域で開催される運動や 体操などの取組 その他 ~NIO0 特にない 地域見守り

ネットワーク

地域見守りネットワーク事業の 協力事業者 (宅配事業者等) と の連携により、細やかなネット ワークを構築しています。



川崎市内配布数:7.000人 うち有効回収数:2.450人 川崎区内配布数:1,000人

うち有効回収数:303人 ※数値は有効回収数を100%と したときの割合

15.2

13.2

1.6

1.7

3.1

2.2

4.3

9.5

12.9



37.0

健康づくり・介護予防

50%

町内会・自治会、有志団体等で実施している 体操等や会食会、サロン・カフェなどへの支



OIN> ども見守り活動

町内会・自治会やPTAなどとの連携により、 小学校の登下校の時間帯に見守り活動を実

施し、子どもの 安全確保対策及 化しています。



健康づくりボランティア(健康づくり サポーター・食生活改善推進員

ボランティア養成講座 の実施や活動の継続 に向けた支援を行い、 健康づくりに関わる人 材を育成しています。





防災に関する 取組のうち、 ご存知のものは どれですか。

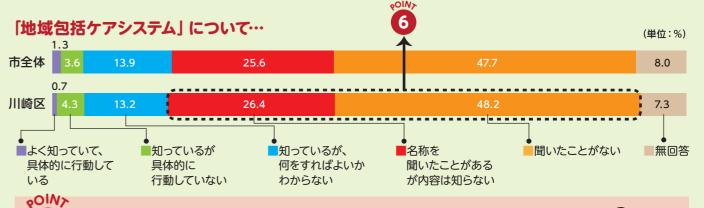


10% 20% 30% 40% 50% 13.3 川崎市地域防災計画 市全体(回収数=2,450人) 川崎区(回収数=303人) 各区地域防災計画 地区ごとに作成している 防災計画 災害時要援護者避難制度 44.1 川崎市防災マップ 49.2 土砂災害ハザードマップ 3.2 福祉避難所 2.6 防災啓発冊子 9.2 「備える。かわさき」 ●自主防災組織とは 自分たちの地域は自分たちで守る、 川崎市防災 5.7 ポータルサイト という意識のもと住民同士が助け 合って災害を乗り越えることがで 5 自主防災組織 きるように活動する組織です。災害 時には高齢者、障害者、外国人、乳 幼児、妊産婦など、助けを必要とす マイタイムライン る人々を守るのも、自主防災組織 川崎市災害 の役割です。 ボランティアセンター 23.1 すべて知らない



川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、 <mark>システム</mark>」の構築を進めています。 あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や 行動について、あてはまるものをお答えください。

無回答



地域包括ケアシステム(略称:地ケア)の認知度が低いことから、 キャラクター作成など、まず知ってもらうための取組を 行っています。

多用な主体との連携により、地域包括ケアシステムの構築に向けた 普及啓発や見守り活動団体等への支援を行っています。

